

事業戦略

エネルギー事業

2 小売・ソリューション

2040年の目指す姿

関西エリア内にとどまらず、全国・海外のお客さまから長期的に選ばれるサービスプロバイダーとなる

事業環境

- データセンター新設や電化の進展により、電力需要は中長期的に拡大
- 自由化により選択肢が拡大するなか、価格・安定性への期待が一層向上
- 分散型リソースの拡大に伴い、脱炭素等の顧客ニーズが高度化

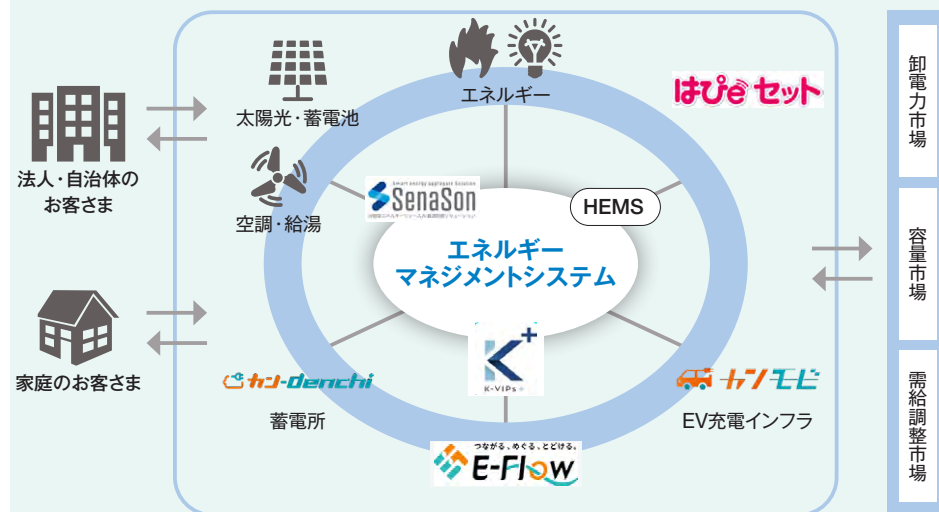
強み

- 関西エリアを中心とした顧客基盤
- 多様なソリューションサービス(ユーティリティサービス、太陽光DER等)

戦略

- エネルギー(電気・ガス)とソリューションサービスの一体提供を通じ、ゼロカーボン社会の実現に向けたお客さまの課題解決に貢献する
- エネルギー事業とのシナジーや市場環境等の変化を踏まえ、競争力のあるソリューションサービスのポートフォリオを構築する

エネルギーとソリューションの一体提供



特に注力する領域

長期的なパートナーとしてお客さまとともに成長するため、エネルギーを軸としたソリューションサービスの提供と新たな事業領域への挑戦を進め、それらを相互に連携させ、最適な形でお届けする「エネルギー3.0」を強力に推進することに注力します。

具体的な取組み

エネルギーを軸としたソリューションサービスの提供

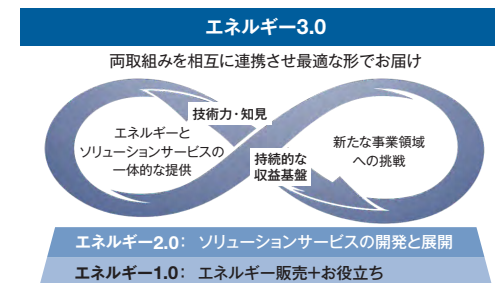
- 機器制御を含むエネルギーマネジメントサービスを軸に、エネルギー販売と分散型リソースサービスの一体提供を推進し、お客さまのエネルギーコスト低減と脱炭素化の両立を支援し、「エネルギー3.0」の具体化を進めます。

分散型リソースサービスの一例(E-Flow(同))

- 関西エリアにとどまらず全国での営業活動を強化するとともに、海外(タイ・ベトナム・インドネシア)のお客さまへエネルギーマネジメントやオンサイトサービスを提供し、脱炭素ニーズに応えていきます。

新たな事業領域への挑戦

- 蓄電所事業をはじめとするエネルギー周辺の新領域への事業拡大を進め、再生可能エネルギーの導入拡大や需給調整ニーズの高まりを踏まえ、系統用蓄電池等の分散型エネルギー分野において先行的に事業展開をおこなうことで、新たな収益基盤の構築と持続的な事業拡大を推進します。
- 各ソリューションサービスの特性・規模に応じたプロジェクトファイナンス等を活用し、外部資金やパートナー連携も取り入れながら投資効率を意識した事業運営を進めることで、資本効率の向上と持続的な成長・収益拡大を実現していきます。



蓄電所事業

- 国内トップランナーを目指す(2030年代早期に約100万kWの運用)



紀の川蓄電所
(2024年運転開始)

海外ソリューション

- 海外工場の脱炭素・コスト削減を関電品質でフルサポート

タイ(2018年設立)



ベトナム
(2021年設立)

インドネシア
(2024年設立)